

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 第一学習社 『標準 現代の国語』 ）

教科 国語 の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、効果的に表現しようとする能力の育成をはかる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代のすぐれた文章にふれることにより、言語感覚を磨き、知識と教養を身につける。「言語活動」を通して、実社会に役だつテーマを学習し、知識見分を広げる。	論理的な思考力と判断力、表現力の養成をはかり、生徒が人間や環境、社会などにおける多様な課題に対し対峙する態度を養う。	生徒が自主的、主体的に学習活動を行い、対話的・協働的な学習を積み重ねることにより、様々な社会的要請に応え得る人間性の育成に努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A なぜ本を読むのか 又吉直樹 【知識及び技能】 文章表現の工夫、表現技法の特徴を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の謎や自身の周りの事象についての謎について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 不思議なことや疑問点を導き出し、それに向かい自らの思いを述べようとしている。	・指導事項 文章の構成や取り上げられている具体例を認識したうえで筆者の主張をつかむ ・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末			○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	5
	B 書き方の基礎レッスンⅠ 【知識及び技能】 表記に関する基礎的な原則を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 普段の表現技法について見直し、改善をはかり、実社会に活かそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活における言語を用いる場面において、学んだことを生かそうとしている。	・指導事項 表記表現の基本原則を知る。また、接続表現や比喻表現等の基礎知識を学ぶ。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末			○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 水の東西 山崎正和 【知識及び技能】 多くの具体例と二項対立を用いた論理的文章の構造把握に努める。 【思考力、判断力、表現力等】 論理展開を正確に把握し、違う文化の存在価値についての感性についての感覚を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文化についての叙述を正確に読み取ろうとし、自らの見解を持とうとしている。	・指導事項 二項対立による対比関係を用いながら、日本の水の文化による特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	7
	D 書き方の基礎レッスンⅡ 【知識及び技能】 表記に関する基礎的な原則を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 普段の表現技法について見直し、改善をはかり、実社会に活かそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活における言語を用いる場面において、学んだことを生かそうとしている。	・指導事項 表記表現の基本原則を知る。また、接続表現や比喻表現等の基礎知識を学ぶ。新聞を利用し、実社会に活かせる基礎知識の修養を目指す。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	E 法律の改正に関わる文章を読み比べる & 図書委員会のポスターの 掲示内容を検討する 【知識及び技能】 提示された資料に対し、その意図	・指導事項 法律文等の資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連付けながら理解したことをまとめる。 ・教材 教科書 副教材				【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】				

2 学 期	や表現方法の上天の方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 資料や会話を読み比べて、その共通点や相違点、その他必要な情報を精査し、活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 実社会で必要となるデータや資料に嫌悪感を持つことなく向き合い、その効率性や利便性を知り、生かそうとしている。	副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等	○		【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	5
	F 言語としてのピクトグラム 【知識及び技能】 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本のピクトグラム提示の特徴について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本のピクトグラム提示の特徴について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	・指導事項 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	5
	G イースター島になぜ森がないのか 鷲谷いづみ 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。情報整理能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 SDGsに関する見解を、自らの考え方と合わせて、考察する。自らの考えが伝わるように叙述する方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を読み、自分の意見や思いを論述する能力を向上させようとしている。	・指導事項 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1
2 学 期	H 「弱いロボット」の誕生 岡田美智男 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙力の向上をはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 AI技術やICT技術の発展等について、自らの意見を持ち、考察し、表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 いずれ迫りくる自らの進路活動や就職、その他のライフプランを考え出していく契機とし、労働について考え出そうとしている。	・指導事項 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	6
	I 人はなぜ仕事をするのか 内田樹 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙力の向上をはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 AI技術やICT技術の発展等について、自らの意見を持ち、考察し、表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 いずれ迫りくる自らの進路活動や就職、その他のライフプランを考え出していく契機とし、労働について考え出そうとしている。	・指導事項 本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	J ステレオタイプの落とし穴 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。情報整理能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 SDGsや戦争・紛争に関する見解を、自らの考え方と合わせて、考察する。自らの考えが伝わるように叙述する方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を読み、自分の意見や思いを論述する能力を向上させようとしている。	・指導事項 ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等	○		【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	4

3 学 期	K 論理分析 【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	・指導事項 実用的な文章で用いられる論理の型を学ぶ ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等	○						4	
	L 論理的な表現 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	・指導事項 説得力を意識した表現のしかたについて理解する ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等	○						5	
	定期考査						○	○		1
										70

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科 国語 科目 言語文化

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（東京書籍 『新編 言語文化』）

教科 国語 の目標

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、効果的に表現しようとする能力の育成をはかる。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学 期	A 竹取物語	・指導事項 文章の構成や取り上げられている具体例を認識したうえで筆者の主張をつかむ ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができる。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	6
	B 古典文法基礎 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 古典を読むのに必要な基礎的な知識を身につける。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末		○	【知識・技能】 歴史的仮名遣いや平安時代の五十音図を正しく理解することができる。 【思考・判断・表現】 有名作品の冒頭部分を正しく読むことができる。また、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	7
	C 児のそら寝 『字拾遺物語』 【知識及び技能】 文語文法の基礎事項を把握する。 歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、時代を超えた「言語」の違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古文の世界を楽しもうとし、説話の面白みを味わおうとしている。	・指導事項 古文の世界に親しむとともに、動詞の活用（9種類）を学習し、本文を正しく解釈したうえで朗読できるようにする。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができる。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	8
	D 亀山殿の御池 『徒然草』 【知識及び技能】 文語文法の基礎事項を把握する。 歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、時代を超えた「言語」の違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古文の世界を楽しもうとし、説話の面白みを味わおうとしている。	・指導事項 古文の世界に親しむとともに、形容詞・形容動詞について学習し、本文を正しく解釈したうえで朗読できるようにする。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができる。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。	○	○	○	7
	E 芥川 『伊勢物語』 【知識及び技能】 本作品や歌物語についての概略を知り、その表現技法や語彙について的確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 中古の歌物語について、語彙を学ぶとともに、ただしく読解する。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル		○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができる。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6

2 学 期	内容や構成、展開、表現の仕方について叙述をもとに的確にとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歌物語について理解しようとし、各章段に描かれた内容を的確にとらえようとしている。	スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等			○	【主眼的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。				9
	F 筒井筒 『伊勢物語』 【知識及び技能】 本作品や歌物語についての概略を知り、その表現技法や語彙について的確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開、表現の仕方について叙述をもとに的確にとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歌物語について理解しようとし、各章段に描かれた内容を的確にとらえようとしている。	・指導事項 中古の歌物語について、語彙を学ぶとともに、ただし読解する。 助動詞「ず」「き」「けり」について学習する。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。		○	○	6
	G 羅生門 芥川龍之介 【知識及び技能】 設定された時代背景を理解することができる。下人と老婆の心情の変化を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の言動をもとに、正確な根拠をもって登場人物の分析ができています。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の考え方と当時の考え方の比較・検討ができる。発表や討論を通じて、周りに対して自らの考えを伝えることができる。	・指導事項 登場人物の心情の整理、分析をするとともに、現代とはあまりにも異なる現実を目の当たりにさせ、感想をもつ。また、芥川龍之介などの文豪についての基礎知識を習得する。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。		○	○	7
H 和歌	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 詩歌を鑑賞する力を養い、そこに表れた日本人の伝統的なものの見方、感じ方を理解させる。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語幹を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。		○	○	7
3 学 期	I 訓読の基本 & 故事成語 【知識及び技能】 中学校で学習したことの復習をし、漢文の構造の基礎知識や訓読に関する基礎知識の習得ができる。	・指導事項 訓読や書き下し文の基礎基本を学び、最低限度の漢文が理解できるようにする。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル			○	【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができています。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】		○	○	15
										合計
										69

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： 高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる（第一学習社）、新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史 の目標

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部地図でとらえる現代世界 第1章地球上の位置と時差 【知識及び技能】地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に取り組む態度】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 地球上の位置と時差 ・地球上の位置と私たちの生活 ・時差と私たちの生活	【知識・技能】日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	第2章結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に取り組む態度】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 現代世界の国家と領域 ・現代世界の国家 ・日本の位置や領域	【知識・技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
		2 グローバル化する世界 ・国家間の結びつき ・貿易によって結びつく世界 ・さまざまな交通網の発達 ・世界を結ぶ通信網の発達 ・観光のグローバル化		○	○	○	5

2 学 期	第2部国際理解と国際協力 第1章生活文化多様性と国際理解 【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に取り組む態度】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1節世界の地形と人々の生活 2節世界の寄稿と人々の生活 3節世界の言語・宗教と人々の生活 4節歴史的背景と人々の生活 5節世界の産業と人々の生活	【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第2章地域的課題と国際協力 【知識及び技能】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に取り組む態度】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1節複雑に絡み合う地球的課題 2節地球環境問題 3節資源・エネルギー問題 4節人口問題 5節食糧問題 6節都市・居住問題		○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（第一学習社 高等学校 公共）

教科 公民 の目標

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解する	・指導事項 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 5 伝統や文化とのかかわり	【知識・技能】 人生の中で青年期はどのような意味をもつか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える 【思考力、判断力、表現力等】 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。	・指導事項 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 4 公共的な空間を形成するための考え方 5 よりよく生きる行為者として活動するために	【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	第3章 公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生	・指導事項 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 6 世界のおもな政治体制	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】				

	かされているかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則に関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	7 日本国憲法に生きる基本的原理	思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則に関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために 5 さまざまな契約と法 6 消費者の権利と責任 7 裁判所と人権保障	【知識・技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権 【知識及び技能】 ・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。 ・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会の課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決することを学ぶ。	・指導事項 【主題4】政治参加と公正な世論形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉 【主題5】国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	【知識・技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	第2章 政治的な主体となる私たち 主題6 日本の安全保障と防衛 【知識及び技能】 日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の安全保障と防衛について現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 【主題6】日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	【知識・技能】 日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、さまざまな観点から考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	第2章 政治的な主体となる私たち 主題7 国際社会の変化と日本の役割 【知識及び技能】 ・国際社会を実現するために必要な日本の役割を理解する。	・指導事項 【主題7】国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	【知識・技能】 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題に関する資料を、さまざまな情報手段を用いて収集し、課題の解決に向けて、国際社会では何がおこなわれているか、理解している。				

	・今日の国際社会の特徴について理解する。人種・民族問題と地域紛争の背景、現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人種・民族問題と地域紛争の背景、現状を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												</
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 新編 数学Ⅰ （数研出版） ）

教科 数学 の目標

- 【知 識 及 び 技 能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式 【知識及び技能】 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	・指導事項 多項式の加法と減法、多項式の乗法、因数分解 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 二次の乗法公式及び因数分解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	数と式 【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	・指導事項 実数、根号を含む式の計算、不等式の性質、1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12

集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	・指導事項 集合、命題と条件、命題とその逆・対偶・裏、命題と証明 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1

2 学 期	二次関数 【知識及び技能】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	・指導事項 関数とグラフ、2次関数のグラフ、2次関数の最大・最小、2次関数の決定、2次方程式、2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	二次関数 【知識及び技能】 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。 データの分析 【知識及び技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。	・指導事項 2次不等式、データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、2つの変量の間の関係、仮説検定の考え方 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	【知識・技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする。	○	○	○

る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。		したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
定期考査			○	○		1

3 学 期	図形と計量 【知識及び技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	・指導事項 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張、正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の応用、三角形の面積、空間図形への応用 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用）教科 数学 科目 数学A

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 数研出版 新編 数学A

【学びに向かう力、人間性等】 広く数学を活用できることを認識し、問題解決のための考察を深める基本的な姿勢を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確立についての基本的な概念や原理を体系的に理解するとともに、事象を数学的に表現・処理する能力を身に付けさせる。	図形の性質を見出し、論理的に考察する力、不確実な事象を確率の性質に基づき事象の起こりやすさ（にくさ）を数理的に考察する力を身に付けさせる。	数学が広く活用されていることを認識し、自らの問題解決の場面で、数学的論拠に基づき考察を深め処理しようとする姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 集合 【知識及び技能】 集合の概念を理解し、2つの集合の関係も含め、集合を適切に表現する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 2つ(3つ)の集合の関係を理解したうえで、適切に考察・処理する手法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の考え方を数学的な諸問題の解決のために応用する姿勢を身に付ける。	・指導事項 集合の定義、共通部分、和集合、 補集合 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 集合の概念を理解し、2つの集合の関係も含め、集合を適切に表現できる。 【思考・判断・表現】 2つ(3つ)の集合の関係を理解したうえで、適切に考察・処理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合の考え方を数学的な諸問題の解決のために応用することができる。	○	○	○	4
	B 集合の要素の個数 【知識及び技能】 和集合や補集合の要素の個数に関する性質を理解し、数式で処理する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素の個数に関する性質を倍数問題等で適切に考察・活用する手法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の個数の処理の手法を、数学的な諸問題の解決のために応用する姿勢を身に付ける。	・指導事項 和集合の要素の個数、倍数の個数、調査集計問題への応用 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 和集合や補集合の要素の個数に関する性質を理解し、数式で処理できる。 【思考・判断・表現】 集合の要素の個数に関する性質を、倍数問題等で適切に考察・活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合の要素の個数の処理の手法を、数学的な諸問題の解決のために応用できる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 場合の数、順列、組合せ 【知識及び技能】 順列・組合せの概念を理解し、的確に求められる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 条件を伴う様々な問題を適切に考察し、活用する考え方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 順列・組合せの考え方を身近な諸問題に活用する姿勢を身に付ける。	・指導事項 樹形図、順列・組合せの定義・計算、種々の順列・組合せの応用 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 順列・組合せの概念を理解し、場合の数を的確に求めることができる。 【思考・判断・表現】 条件を伴う様々な問題を適切に考察し、活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列・組合せの考え方を身近な諸問題に活用することができる。	○	○	○	6
	D 組分け、同じものを含む順列 【知識及び技能】 順列・組合せの考え方を利用して組分けや同じものを含む順列の考察に活用する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な組分けや順列に応用できる考察力や数式処理能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象の場合の数を数学的な諸問題に活用して考察する姿勢を身に付ける。	・指導事項 組分けを組分けや同じものを含む順列問題への応用事例 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 順列・組合せの考え方を利用して組分けや同じものを含む順列の考察に活用することができる。 【思考・判断・表現】 発展的な組分けや順列の問題を多面的に考察でき、数量的に処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な場合の数の問題を日常生活のいろいろな事象に活用することができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	E 確率の基本性質 【知識及び技能】 確率の概念を理解し、場合の数の既習事項を用いて、適切に確率を求める能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 和事象や余事象の確率の性質を理解し、事象を的確に考察し数式処理できる能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の考え方を数学的な事象に	・指導事項 確率の定義、基本性質、和・積事象の確率、余事象利用の確率 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 確率の概念を理解し、場合の数の既習事項を用いて、適切に確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 和事象や余事象の確率の性質を理解し、事象を的確に考察し数式処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の考え方を身の回りの数学的な事象に応用することができる。	○	○	○	6

	応用する姿勢を身に付ける。						
	F 独立試行・条件付き確率・期待値 【知識及び技能】 独立試行・条件付き確率・期待値の概念を理解し、基本的な確率を求める能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 独立試行・条件付き確率・期待値の基本概念をもとに加法定理や乗法定理等を用いて、適切に考察し応用する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の考えを身の回りの数学的な事象に活用する姿勢を身に付ける。	・指導事項 独立・反復試行の確率、条件付き確率 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 独立試行・条件付き確率・期待値の概念を理解し、基本的な確率を求めことができる。 【思考・判断・表現】 独立試行・条件付き確率・期待値の基本概念をもとに加法定理や乗法定理等を用いて、適切に考察し応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の考え方を身の回りの数学的な事象に活用することができる。	○	○	○	7
2 学 期	定期考査			○	○		1
	G 平面図形・三角形 【知識及び技能】 三角形の性質や定理の基本概念を理解し、適切に数式処理できる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本概念をもとに様々な図形問題を的確に考察し、応用する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用する姿勢を身に付ける。	・指導事項 三角形の角の2等分線の性質・外心・内心・重心、チェバ・メネラウスの定理 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 三角形の性質や定理の基本概念を理解し、適切に数式処理することができる。 【思考・判断・表現】 基本概念をもとに様々な図形問題を的確に考察し応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用することができる。	○	○	○	8
	H 平面図形・四角形と円 【知識及び技能】 円と四角形および円と接線に関する性質絵を理解し、適切に数式処理できる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本性質をもとに様々な図形問題を的確に考察し、応用する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 円に関する種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用する姿勢を身に付ける。	・指導事項 円に内接する四角形の性質、円の接線の性質、方べきの定理 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 円と四角形および円と接線に関する性質絵を理解し、適切に数式処理することができる。 【思考・判断・表現】 円・四角形・接線の基本性質をもとに様々な図形問題を的確に考察し応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 円に関する種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用することができる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 空間図形 【知識及び技能】 空間図形の直線と平面の関係や多面体について、基本概念を理解し、図形的に課題解決する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な空間図形について、的確に考察し、奥行きや断面等をイメージして図形的に処理する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの立体図形に興味を持ち、考察する姿勢を身に付ける。	・指導事項 直線と平面、空間図形と多面体 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 空間図形の直線と平面の関係や多面体について、基本概念を理解し、図形的に課題解決することができる。 【思考・判断・表現】 基本的な空間図形について、的確に考察し、奥行きや断面等をイメージして図形的に処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの立体図形に興味を持ち、考察することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計
							70

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科 理科 科目 化学基礎 単位数 2 単位

対象学年組 第1学年 1組～7組

使用教科書 (改訂版 新編 化学基礎 (数研))

教科 理科 の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができています。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 【知識・技能】 ・混合物を分離する操作方法をあげることができる。 ・実際にそれらの方法を適切に用いて混合物を分離することができる。 ・炭素、酸素、リン、硫黄の同素体をあげることができる。 ・代表的な成分元素について検出法を理解し、実験を実施することができる。 ・物質の状態と熱運動の関係を理解している。 ・物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 ・物理変化と化学変化の違いを理解している。 ・物質の状態と熱運動の関係を理解している。 ・物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 ・物理変化と化学変化の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。 ・物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができる。 ・いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。 ・単体と化合物の違いについて説明することができる。 ・同素体とは何かを説明できる。 ・物質を加熱したり冷却したりしたときの温度変化を、グラフに表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。 ・身のまわりの混合物が、どのような純物質から構成されてるかに興味をもつ。 ・元素の概念に興味をもつ。 ・日常生活の中の物質の状態変化について興味をもつ。	1.混合物と純物質 2.物質とその成分 3.物質の三態と熱運動 1.原子とその構造	【知識・技能】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。 ・実際にそれらの方法を適切に用いて混合物を分離することができる。 ・炭素、酸素、リン、硫黄の同素体をあげることができる。 ・代表的な成分元素について検出法を理解し、実験を実施することができる。 ・物質の状態と熱運動の関係を理解している。 ・物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 ・物理変化と化学変化の違いを理解している。 ・物質の状態と熱運動の関係を理解している。 ・物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 ・物理変化と化学変化の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。 ・物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができる。 ・いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。 ・単体と化合物の違いについて説明することができる。 ・同素体とは何かを説明できる。 ・物質を加熱したり冷却したりしたときの温度変化を、グラフに表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。 ・身のまわりの混合物が、どのような純物質から構成されてるかに興味をもつ。 ・元素の概念に興味をもつ。 ・日常生活の中の物質の状態変化について興味をもつ。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1
第2章 物質の構成粒子 【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 ・イオンの化学式が正しく書け、	1.原子とその構造 2.イオン 3.元素の周期表	【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 ・イオンの化学式が正しく書け、化学式で表されたイオンの名称がわかる。				

1 学 期	化学式でかかれたイオンの名称がわかる。 ・単原子イオンの電子配置を示すことができる。 ・イオン化エネルギーの概念を説明できる。 ・元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布および同族元素について理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。 ・イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができる。 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。 ・原子とイオンの違いについて疑問をもつ。 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。		・単原子イオンの電子配置を示すことができる。 ・イオン化エネルギーの概念を説明できる。 ・元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布および同族元素について理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。 ・イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができる。 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。 ・原子とイオンの違いについて疑問をもつ。 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。	○	○	○	7
	第3章 粒子の結合 【知識・技能】 ・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。 ・共有結合とはどのような結合であるか説明できる。 ・さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。 ・配位結合が含まれる錯イオンの成りたちを理解している。 ・極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から理解している。 ・極性分子と無極性分子の性質の差異を実験により確認することができる。 ・高分子化合物の成りたちや構造を理解している。	1. イオン結合とイオンからなる物質 2. 分子と共有結合 3. 共有結合の結晶 4. 金属結合と金属	【知識・技能】 ・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。 ・共有結合とはどのような結合であるか説明できる。 ・さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。 ・配位結合が含まれる錯イオンの成りたちを理解している。 ・極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から理解している。 ・極性分子と無極性分子の性質の差異を実験により確認することができる。 ・高分子化合物の成りたちや構造を理解している。 ・共有結合の結晶の構造やその性質の関係を理解している。 ・ダイヤモンドや黒鉛中の原子の結合を、分子模型などを使って表せる。 ・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように組成式で表されることを理解している。				

	・共有結合の結晶の構造すべての性質の関係を理解している。 ・ダイヤモンドや黒鉛中の原子の結合を、分子模型などを使って表せる。 ・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように組成式で表されることを理解している。 ・金属の特徴を実験で示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・イオン結晶中のイオンの配置を示した模型およびイオン結晶の性質について説明することができる。 ・原子間の共有結合を考えることによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。 ・分子間力や分子結晶の性質を説明することができる。 ・付加重合や縮合重合について説明できる。 ・ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを、共有結合の強さ、結晶構造、電子の移動をもとに説明できる。 ・分子結晶との違いについて説明できる。 ・金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づき、金属結合および金属結晶の性質について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。 ・身のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもつ。 ・通常の共有結合とはできるしくみの異なる配位結合について興味をもつ。 ・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。 ・原子がとても長くつながった分子である高分子化合物に興味をもつ。 ・共有結合の結晶にはどのような物質があるかに興味をもつ。 ・金属特有の性質に興味をもつ。	よりに組成式で表されることを理解している。 ・金属の特徴を実験で示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・イオン結晶中のイオンの配置を示した模型およびイオン結晶の性質について説明することができる。 ・原子間の共有結合を考えることによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。 ・分子間力や分子結晶の性質を説明することができる。 ・付加重合や縮合重合について説明できる。 ・ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを、共有結合の強さ、結晶構造、電子の移動をもとに説明できる。 ・分子結晶との違いについて説明できる。 ・金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づき、金属結合および金属結晶の性質について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。 ・身のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもつ。 ・通常の共有結合とはできるしくみの異なる配位結合について興味をもつ。 ・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。 ・原子がとても長くつながった分子である高分子化合物に興味をもつ。 ・共有結合の結晶にはどのような物質があるかに興味をもつ。 ・金属特有の性質に興味をもつ。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 【知識・技能】 ・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。 ・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質量で表せる。 ・同温・同圧の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解する。 ・濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 ・化学反応における、物質、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 ・原子説の発見、分子説の発見にいたる物質探究の歴史を学び、化学の基礎法則を理解する。 【思考・判断・表現】 ・異なる質量の原子が混在する場合、その平均の質量を表す方法を見いだすことができる。 ・ある質量の物質の中に、原子や	1. 原子量・分子量・式量 2. 物質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質量	【知識・技能】 ・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。 ・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質量で表せる。 ・同温・同圧の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解する。 ・濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 ・化学反応における、物質、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 ・原子説の発見、分子説の発見にいたる物質探究の歴史を学び、化学の基礎法則を理解する。 【思考・判断・表現】 ・異なる質量の原子が混在する場合、その平均の質量を表す方法を見いだすことができる。 ・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と物質量に関する計算ができる。 ・モル体積を用いて、気体の体積と物質量に関する計算ができる。 ・2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができる。				

2 学 期	分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と物質に関する計算ができる。 ・モル体積を用いて、気体の体積と物質に関する計算ができる。 ・2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができる。 ・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子1個がいかに小さなものであるかを実感する。 ・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。 ・物質の概念について興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できる。 ・溶液の濃さの表し方について興味をもつ。 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。	・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子1個がいかに小さなものであるかを実感する。 ・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。 ・物質の概念について興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できる。 ・溶液の濃さの表し方について興味をもつ。 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。				13	
	定期考査			○	○	○	1
	第2章 酸と塩基の反応 【知識・技能】 ・酸・塩基の価数、電離度などの考え方があることを理解し、説明できる。 ・H ⁺ の授受が実際に行われている反応を確かめることができる。 ・水溶液中のH ⁺ の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。 ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類について理解している。 ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定で使用するホールビペット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の性質をH ⁺ とOH ⁻ で考える方法と、H ⁺ の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度と水酸化物イオン濃度の関係 (p. 118 図7) を用いて、水酸化物イオン濃度を求めることができる。	1. 酸・塩基 2. 水の電離と水溶液のpH 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定	【知識・技能】 ・酸・塩基の価数、電離度などの考え方があることを理解し、説明できる。 ・H ⁺ の授受が実際に行われている反応を確かめることができる。 ・水溶液中のH ⁺ の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。 ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類について理解している。 ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定で使用するホールビペット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の性質をH ⁺ とOH ⁻ で考える方法と、H ⁺ の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度と水酸化物イオン濃度の関係 (p. 118 図7) を用いて、水酸化物イオン濃度を求めることができる。 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 ・中和の量的関係を数式で表すことができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用で				13

	・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 ・中和の量的関係を数式で表すことができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。 ・中和反応がH^{+}とOH^{-}の反応であることに気づく。 ・身近な酸・塩基の水溶液も、中和滴定によって濃度が求められることに気づく。						
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第3章 酸化還元反応 【知識・技能】 ・電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 ・酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。 ・酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。 ・通常の酸と反応する金属と、王水や酸化力をもつ酸とのみ反応する金属との違いを理解している。 ・金属のイオン化傾向を利用して、金属を加工できる。 ・簡単な電池をつくることができる。 ・金属の製錬の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・酸化還元反応に必ず電子の移動が伴うことに気づく。 ・酸化数を求めることによって酸化還元反応を区別することができるようになる。 ・酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 ・金属のイオン化は電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 ・金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。 ・電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。 ・電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向や電子の授受に着目して説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸化と還元は同時に起こることに気づく。 ・酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させることができる。 ・金属樹ができることに興味をもつ。 ・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。	1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用	【知識・技能】 ・電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 ・酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。 ・酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。 ・通常の酸と反応する金属と、王水や酸化力をもつ酸とのみ反応する金属との違いを理解している。 ・金属のイオン化傾向を利用して、金属を加工できる。 ・簡単な電池をつくることができる。 ・金属の製錬の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・酸化還元反応に必ず電子の移動が伴うことに気づく。 ・酸化数を求めることによって酸化還元反応を区別することができるようになる。 ・酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 ・金属のイオン化は電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 ・金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。 ・電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。 ・電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向や電子の授受に着目して説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸化と還元は同時に起こることに気づく。 ・酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させることができる。 ・金属樹ができることに興味をもつ。 ・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。				13
	定期考査			○	○	○	1
	合計						70

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科 保健体育 科目 体育 単位数 3 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書 （ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標

- 【知識及び技能】
- 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動や健康についての他他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A	単元 体づくり運動 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること。	・指導事項 体力トレーニング サーキットトレーニング 持久力トレーニング 等 ・教材 プリント	【知識・技能】 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 【思考・判断・表現】 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定すること。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けること 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとすること。	○	○	○	5
B	単元 バドミントン 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとし、健康・安全を確保すること	・指導事項 ルール クリアー ヘアピン・ドロップ スマッシュ ・教材 プリント	【知識・技能】 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・腕やラケットを強く振って、相手コートに打ち込むこと。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとし、	○	○	○	9

1 学 期	C単元 バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること	・指導事項 ドリブル パス シュート ・教材 プリント	【知識・技能】 ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 味方が操作しやすいパスを送ること。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。	○	○	○	8
	D 単元 ソフトボール 【知識及び技能】 、易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開できるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 キャッチボール バッティング ゲームのルール確認 ゲーム ・教材 プリント	【知識・技能】 ・タイミングを合わせてボールを捉え、ねらった方向にボールを打ち返すこと。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を進んだり戻ったりすること。 ・捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとする。 ・健康・安全を確保すること。	○	○	○	8

2 学 期	単元 バレーボール 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること	・指導事項 アンダーハンドパス オーバーハンドパス スパイク サーブ ゲーム ・教材 プリント	【知識・技能】 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・腕を強く振って、相手コートに打ち込むこと。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。	○	○	○	15
	単元 卓球 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること	・指導事項 フォアハンド バックハンド サーブ ゲーム ・教材 プリント	【知識・技能】 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・腕やラケットを強く振って、相手コートに打ち込むこと。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。	○	○	○	15
	単元 ソフトボール 【知識及び技能】 、易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開できるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 キャッチボール バッティング ゲームのルール確認 ゲーム ・教材 プリント	【知識・技能】 ・タイミングを合わせてボールを捉え、ねらった方向にボールを打ち返すこと。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を進んだり戻ったりすること。 ・捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとする。 ・健康・安全を確保すること。	○	○	○	15

単元 サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること	指導事項 ドリブル シュート パス ゲーム 教材 プリント	【知識・技能】 ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 味方が操作しやすいパスを送ること。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。	○	○	○	15
単元 バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること	指導事項 ドリブル シュート パス ゲーム 教材 プリント	【知識・技能】 ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 味方が操作しやすいパスを送ること。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。	○	○	○	10

○ 学 期						
単元 陸上 長距離 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	指導事項 長距離走 教材 プリント	【知識・技能】 自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走し たりできるようにする 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えること 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとすること。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切に しようとする	○	○	○	20
						合計
						120

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科 保健体育 科目 保健 単位数 1 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書 （ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 健康の考え方 【知識及び技能】 我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 国民の健康課題について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 健康は主体と環境の相互作用によって成り立っていることを、中学校保健体育科の保健分野で学習している。それらを踏まえて、ここでは、国民の健康課題や考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることを理解し、国民の健康課題を発見し、その課題に向けての解決策を思考判断するとともに、それらを表現することができるようにすることが必要である ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する。	【知識・技能】 国民の健康問題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通じて理解したこと、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている 【思考・判断・表現】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民の健康課題について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B 単元 生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病などの予防と回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・指導事項 生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する。	【知識・技能】 生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断の受診が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病などの予防と回復について、個人の取組や社会的な対策についての学習に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	C 単元 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 1) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して喫煙と飲酒は生活習慣病などの要因になること、また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っていないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。	・指導事項 喫煙と飲酒は生活習慣病などの要因になること、また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っていないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを学習する。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する。	【知識・技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒と健康について、個人及び社会生活と関連付け、自他や社会の課題を発見しているとともに、その解決方法を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

	【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法及び適切な活用方法の選択に向けての話し合いや意見の交換などに主体的に取り組むことができるようにする。						
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 1) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して喫煙と飲酒は生活習慣病などの要因になること、また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法及び適切な活用方法の選択に向けての話し合いや意見の交換などに主体的に取り組むことができるようにする。	・指導事項 喫煙と飲酒は生活習慣病などの要因になること、また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを学習する。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する。	【知識・技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒と健康について、個人及び社会生活と関連付け、自他や社会の課題を発見しているとともに、その解決方法を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元 現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症とその予防について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする	・指導事項 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを学習する。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する。	【知識・技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること。その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 感染症について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 感染症の予防について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元) 精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 精神疾患の特徴や精神疾患への対処について理解ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防と回復の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 我が国の健康水準は、科学技術の発展や社会経済の発展に伴って向上してきており、現在、平均寿命・健康寿命において世界最高水準を達成している状態にある。しかし、社会の急激な変化によって国民の疾病構造等は変化し、心の健康が大きな課題となってきた。また、身体的にも精神的にも多様な変化を伴う青年期を生きる高校生にとっては、精神的なストレスを抱えやすい時期であることから、本単元は自身の体験と重ねて考えることのできる単元であると考えられる ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する	【知識・技能】 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知・情動・行動などの不調により精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている 【思考・判断・表現】 感染症について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 感染症の予防について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	単元 応急手当 心肺蘇生 【知識及び技能】 応急手当について、実習を通して理解することができるようにするとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題解決に向けた学習活動に主体的に取り組むことができるようにする。	・指導事項 応急手当の手順や方法を知識として習得するだけでなく、AEDの設置場所の把握や、複数人数で対処することの有効性など、実践的な学習を通して理解したことができるようになる ・教材 教科書、プリント、ダミー人形 ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する。	【知識・技能】 応急手当の意義、手順や方法、さらに、自ら進んで行う態度、社会の救急体制の整備や、それを適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている 【思考・判断・表現】 応急手当について、個人及び社会生活と関連付けて、自他や社会の課題を発見している 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について、課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元 健康に関する意思決定・行動選択 【知識及び技能】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題に関して理解する 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 国民の健康課題について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 状況に応じて活用する。	【知識・技能】 健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（On!1 音楽之友社）

教科 芸術 の目標

- 【知識及び技能】音楽の文化的・歴史的背景などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

科目 音楽Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 独唱 【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心を持ち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組む。	①校歌 ②花は咲く	○			○	【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心を持ち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B ギター独奏 【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心を持ち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組む。	①キラキラ星 ②ぶんぶんぶん ③ハッピーバースデイ		○		○	【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心を持ち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組んでいる。	○	○	○	14
	C ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心を持ち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組む。	ミュージカル映画 「天使にラブソングを1」				○	【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心を持ち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心を持ち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協動的に歌唱活動に取り組む。	①'O sole mio ②Heidenröslein ③おお シャンゼリゼ ④茉莉花 ⑤アリラン	○			○	D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心を持ち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協動的に歌唱活動に取り組んでいる。	○	○	○	10

2 学 期	E キーボード独奏 【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ受し、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心を持ち、主体的・協働的に練習に取り組む。	①歓喜の歌 ②メリーさんの羊					○	○	【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ受し、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心を持ち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。	○	○	○	14	
	F ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取る。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付ける。	ミュージカル映画 「ハイスクールミュージカル1」						○		【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付けている。	○	○	○	2
3 学 期	G 合唱 【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心を持ち、主体的・協働的に演奏活動に取り組む。	3部合唱 心の瞳					○	○	【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心を持ち、主体的・協働的に演奏活動に取り組んでいる。	○	○	○	7	
	H 和楽器 【知識及び技能】 日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。箏の取り扱い、調弦方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感じ受しながら美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味関心を持ち、主体的・協働的に練習に取り組む。	箏 ①たこたこあがれ ②お寺のおしょうさん ③さくらさくら						○	○	【知識及び技能】 日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。箏の取り扱い、調弦方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感じ受しながら美しさを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味関心を持ち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。	○	○	○	7
	I 創作 【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的に良い創作活動となるよう取り組む。	箏を用いた音素材での創作						○	○	【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的に良い創作活動となるよう取り組むことができる。	○	○	○	4
														合計
														70

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科 芸術 科目 美術Ⅰ 単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書 （ 高校生の美術1 ）

教科 芸術 の目標

- 【知識及び技能】美術の文化的・歴史背景を正しく理解し、基礎的な知識、技能を定着させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】作品のテーマを自身で設定し、学んだ知識、技能を活用し様々な表現ができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】他者の作品と自身の作品の相互鑑賞を通し、コミュニケーションを図ることができる。

科目 美術Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的なデッサンや透視図法、色彩の基礎知識など、美術Ⅱ、Ⅲに繋がるような知識・技能を身に付ける。また、得た知識・技能を生徒自身がアレンジし、自分の表現として活用できる。	感覚的に作品制作に取り組むだけでなく、ロジカルに制作を進めることができる。自身の表現したいイメージを他者に伝えるための構成や色彩を自ら考えることができる。	他者の作品と自身の作品の相互鑑賞を通し、コミュニケーションを図ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	A 鉛筆デッサン 【知識及び技能】 デッサンを行う意義を理解する。 デッサンを行う際に必要な鉛筆の削り方を理解し、実践する。透視図法を正しく理解し、再現することができる。鉛筆を使い分けることにより濃淡をコントロールし、陰影を表現することができる。基本形態である立方体、円柱を正確に描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラデーションや濃淡を表現する際、使用する画材の特性を考え、実行し、検証、修正を繰り返しながら作品制作を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本形態のパースを修得するための意義を理解し、今後の作品制作に活用する意識を持ち、制作に取り組むことができる。	・鉛筆の削り方 ・濃淡表現の練習 ・静物デッサン	○				○	【知識及び技能】 ・明、暗、半調の明度差を理解し、塗り分けることができる。 ・美しいグラデーションを作ることができる。 ・透視図法を正しく理解し、描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・3種類の鉛筆を必要に応じて使い分けることができる。 ・ねりごむを効果的に使い、色調を整えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・振り返りシートを記入し、よくできた箇所、反省点を認識し振り返ることができる。	○	○	○	12
	B 色彩の理解と実践 【知識及び技能】 色の三大要素を理解する。効果的な配色を、理論的に構成できる。アクリル絵の具の特性を理解して、美しく着彩することができる。【思考力、判断力、表現力等】 明度、彩度、色相の持つ特性を理解し、自分のイメージした色を混色により作ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩の基礎知識を定着させることで今後の作品制作に活用する意識を持ち、制作に取り組むことができる。	・色彩の基礎知識(明度・彩度・色相)・アクリル絵の具の練習(ムラなくベタ塗りする。)・明度のグラデーション制作・色相のグラデーション制作		○			○	【知識及び技能】 ・美しいグラデーションを作ることができる。 ・アクリル絵の具の特性を理解し、ムラのない美しい着彩ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・色彩の特性を理解し、イメージ通りの混色を作ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・振り返りシートを記入し、よくできた箇所、反省点を認識し振り返ることができる。 ・他者の作品を鑑賞し、意見や感想を述べるができる。	○	○	○	14

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科 芸術 科目 書道Ⅰ 単位数 2

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書 (『書道Ⅰ』 東京書籍 (2 | 東書 | 書Ⅰ701))

教科 芸術 の目標

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質を理解すると共に、意図に基づいて表現するための知識や技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小中学校国語科書写を基礎として書写能力の向上を図り、鑑賞能力や伝統文化への理解を深める。更に書表現の方法や形式、多様性について理解し、基礎的な技能を身に付けるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、自ら思考・判断することで、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書美の味わいを感じできるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、主体的・継続的に学びに向かう姿勢を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	単元…概説と導入 【知識及び技能】 用具用材の使用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な執筆法や用具を選択している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・中学校書写の復習と確認。 ・用具・用材の使用法。 ・漢字の成立と変遷。 ・古典の学習法と拓本。	○	○		○	【知識及び技能】 ・用具用材の名称と使い方を理解している。 ・筆を正しい執筆法で持っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大きさで書くことが出来る。 ・文字を整えて書けるように工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。	○	○	○	4
	単元…漢字の書・楷書の導入 【知識及び技能】 臨書の意義を理解し、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 落款を正しく理解し書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 臨書をもとに氏名の筆書きにも挑戦してみる。	・古典の中にみられる基本点画を練習。 ・形臨、背臨、意臨。 ・範書を参考に氏名を書く。	○	○		○	【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大きさで書くことが出来る。 ・形臨、背臨、意臨を区別している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。	○	○	○	4
	単元…楷書・『九成宮醴泉銘』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 ・『九成宮醴泉銘』と背勢。 ・欧陽詢と『補江総白猿伝』。		○		○	【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・背勢を理解し、適切に表現している。 ・分間布白を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	4
	単元…楷書・『孔子廟堂碑』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（16分割法）。 ・『孔子廟堂碑』と向勢。 ・虞世南と『天下の孤本』（拓本）。	○			○	【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・向勢を理解し、適切に表現している。 ・文字の左右の大きさの違いや粗密を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	4
	単元…楷書・『雁塔聖教序』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 ・『雁塔聖教序』と俯仰法。 ・褚遂良と玄奘三蔵法師。	○			○	【知識及び技能】 ・俯仰法の起筆を書き分けられている。 ・抑揚のある軽快な筆使いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・藏鋒と露鋒が区別できる。 ・余白の美を表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実技のための準備をして授業に臨んでいる。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	4
	単元…楷書・『自書告身』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、そ	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。					【知識及び技能】 ・蚕頭燕尾の「はね」を正しく書ける。 ・蚕頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。				

	の背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・『自書告身』の顔法と明朝体。 ・顔真卿と安史の乱。 ・明の大船団派遣と世界四大発明。 ・マルコポーロのみた「万安橋記」	○	○	【思考力、判断力、表現力等】 ・横画を細く縦画が太い力強い表現をしている。 ・抑揚の差が激しい文字をバランス良く半紙に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	4
	単元…楷書・『牛橛造像記』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 ・『牛橛造像記』と方勢。 ・方勢と円勢。 ・側筆と直筆。 ・『鄭義下碑』と円勢。	○	○	【知識及び技能】 ・方筆を理解し、直線的で右上がりに書ける。 ・方筆を理解し、多彩な点画を書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・方勢と円勢の違いを理解し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）	○	○	○	4
	単元…楷書・『隅寺心経』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（行立て用）。 ・細字の執筆法。 ・細字を書く際の墨の工夫。 ・常用漢字、旧字体、書写体、異体字など。	○	○	【知識及び技能】 ・小筆の執筆法を理解し、正確に基本点画（起筆・収筆など）を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・均等に文字を行に配置したり、文字の大きさを揃えるための工夫や準備をし、正確な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・小筆の正しい使い方、洗い方、保存法を実践している。 ・細字を書く上での適切な紙の準備をしている。	○	○	○	4
2 学 期	単元…漢字の書、行書への導入 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。	・行書の基本点画練習。 ・半紙2文字書きによる古典臨書。 ・範書を参考に行書の氏名練習。	○	○	【知識及び技能】 ・行書の特徴を理解している ・点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆順が変わることを理解している。 ・点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。	○	○	○	4
	単元…行書・蘭亭序 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くことで全臨する。	・行書の基本点画練習。 ・『蘭亭序』の全臨。 ・半紙6字書きでの全臨。 ・補助教材の使用（拡大手本蘭亭序）	○	○	【知識及び技能】 ・行書で半紙に6文字書きができる。 ・点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆順が変わることを理解している。 ・点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。	○	○	○	4
	単元…行書・争坐位文稿 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。	・行書の基本点画練習。 ・半紙2文字書きでの形臨。 ・『蘭亭序』と『争坐位文稿』の比較。 ・顔真卿の生涯と明朝体。	○	○	【知識及び技能】 ・筆圧の変化で線に抑揚を付けることができる。 ・空間をゆったりと空けて円を描くように運筆できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・向勢を理解して表現をできる。 ・蔵鋒を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『蘭亭序』と比較して表現しようとしている。 ・旧字体を理解して読もうとしている。	○	○	○	4
	単元…行書・風信帖 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。	・行書の基本点画練習。 ・半紙4字書きでの形臨。 ・三筆と三蹟について。	○	○	【知識及び技能】 ・線の太細の変化を表限できる。 ・文字と文字を連続させて書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・字形と筆順により、点画が省略されることを理解している。 ・文字の重心が低く安定して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。	○	○	○	4

3 学 期	単元…仮名の書・古典かなへの導入。 【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の濃度、紙の種類などを工夫し、様々な仮名の表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。	・仮名の基本線練習。 ・料紙の紹介、作成。 ・磨墨体験。 ・用具清掃。				○	【知識及び技能】 ・仮名用の用具の使い方を理解している。 ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。				4
	単元…仮名の書・平仮名 【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 平仮名の結体を考え、判別し適切な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。	・紙の折り方(48マス) ・小筆による細字練習。				○	【知識及び技能】 ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 ・平仮名の外形特徴を理解して書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・元となった漢字からより適切な結びを使い分けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。				4
	単元…仮名の書・変体仮名 【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 変体仮名の成り立ちを理解・判別し、判別し適切な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 変体仮名を学ぶことで古典文学などを判読しやすくなり、幅広い表現を理解しようとしている。	・紙の折り方(48マス) ・小筆による細字練習。 ・教科書の用例より選択して各自得意なものを書く。				○	【知識及び技能】 ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 ・変体仮名の外形特徴を理解して書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・基本的な変体仮名を判読することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。				4
	単元…仮名の書・連綿 【知識及び技能】 4種類の連綿を理解し、実際に連綿を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 文節や単語を意識しながら効果的に連綿を表現しようとしている。	・連綿の形式を4種類に分類し、提示された課題を連綿でかく。 ・2文字の連綿を見て、4種のうちの連綿に属するかを判断する。 ・6文字以上(例…やまのいろり)の文字を自身で連綿してみる。				○	【知識及び技能】 ・4種類の連綿を理解している。 ・2文字ずつ連綿で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表現できる。 ・何文字まで連綿するか、考えて工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単体仮名の書き方とは異なる表現をしようとしている。 ・平仮名と変体仮名を組み合わせ連綿している。				2
	単元…仮名の書・古典かなの臨書。 【知識及び技能】 基本的な仮名の線を用いて古典仮名を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 連綿を用いて書かれた古典を正確に理解し、表現を工夫出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 古典かなの美を理解・鑑賞し、表現に活かそうとしている。	これまでに習得してきた仮名の線質、仮名の外形、変体仮名、連綿をもとにして古典を臨書する。 「蓬萊切」「高野切」「三色紙」など。				○	【知識及び技能】 ・流暢な連綿線で臨書することができる。 ・墨継ぎ箇所まで理解して臨書している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 ・書かれている内容まで理解して臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字サイズまで正確に臨書している。 ・料紙など文字以外の美についても鑑賞しようとしている。				4
	単元…漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 これまでに学んだ仮名の知識をもとに漢字と仮名をバランス良く交えて書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 古典を生かし様々な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現を比べて文の内容に相応しい表現を探している。	漢字と仮名の混じった詩文を選択する、もしくは作る。文字の展開、行の構成を考え、工夫して草稿を作る。				○	【知識及び技能】 ・平仮名、変体仮名を読み、理解出来る。 ・仮名を適切な大きさや外形を理解し草稿を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。 ・漢字と調和のとれた仮名を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幾つかの表現を比較してより効果的な表現を模索している。 ・鑑賞ための言葉の語彙を増やそうとしている。				2
	単元…漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 用具用材の知識や線質の変化によって、漢字と仮名をバランス良く書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と調和のとれた仮名を工夫して、書くことができる。	・継ぎ紙の技法をもって料紙を作る。 ・色紙の形式に則って散らし書きをする。 ・古筆の技法を活かして創作をする。					【知識及び技能】 ・漢字と調和のとれた仮名を工夫して、書くことができる。 ・用具用材、線質、構成まで工夫している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。				

[illegible]

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（Vivid English CommunicationⅠ 第一学習社）

教科 外国語 の目標

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語でのコミュニケーションを取れるよう習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用し、外国語でのコミュニケーションや課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson1 Share Your World 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson1 Share Your World 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	6
	中間考査								○	○		1
	Lesson2 I Was Drinking Chocolate 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson3 Inspiration on the Ice 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	9
	期末考査								○	○		1
1学期の復習									○	○		3
	Lesson4 Esports' Time Has Arrived 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。						左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。				

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○		○	○	○	6
	Lesson 5 Mansai, Kyogen Performer 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○		○	○	○	9
	期末考查								○	○		1
	Lesson6 In this Corner of the World 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○		○	○	○	9
	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours? 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○		○	○	○	9
	期末考查								○	○		1
	2学期の復習								○	○		3
3 学 期	Lesson8 Our Future with Artificial Intelligence 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○		○	○	○	9
	Lesson 9 Stop Microplastic Pollution 【知識及び技能】文法の用法や決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容を理解し、そのテーマに対する自分の意見を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】松岡さんがどんな問題意識を持って世の中に発信するようになったのかを自ら理解しようとしている	・指導事項 本課のテーマを読みとらせる。 本課の文法項目を理解させ活用できるようにする。 教材 教科書プリント、単語帳 ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○		○	○	○	9
	期末考查								○	○		1
	3学期の復習								○	○		3
												合 計
												88

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： MY WAY English Logic and Expression Ⅰ（三省堂出版）

教科 外国語 の目標

- 【知 識 及 び 技 能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson 1～2 日常のことや身の回りのことを英語で表現できる。 【知識及び技能】 日常的な日本語の言い回しについての英語での表現を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な話題に関して、実際の状況を自らが考え、判断して正しい英文で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のことについて、基本的な語句を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。	・指導事項 英文の基本構造 be動詞、一般動詞現在形とbe動詞、一般動詞過去形を使った表現、進行形表現 ・教材 日常のことや身の回りのことについての的確に表現する。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を、パフォーマンステスト、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	7
	パフォーマンステスト								○	○		3
	Lesson 3 週末の予定について英語で表現することができる。 【知識及び技能】 未来表現、イベントを説明する表現を適切に使えている。 【思考力、判断力、表現力等】 未来表現を使った英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 未来表現を使った表現を習得し、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。	・指導事項 未来形（will, be going to～）を使った表現 ・教材 自分や相手の予定などについてコミュニケーションを図ることができる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	10
	期末考査								○	○		1
	1学期の復習	・1学期の復習を行う。	○	○	○	○	○					2
	Lesson 4～5 海外のレストランで英語を用いて注文することや、道案内を英語で表現することができる。 【知識及び技能】 現在完了形、料理のメニューを表す表現を適切に使えている。現在完了進行形、各国の食べ物を表現を適切に使えている。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形、現在完了進行形を使った英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了形、現在完了進行形を使った英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。	・指導事項 現在完了形と現在完了進行形を使った表現 ・教材 レストランで注文する場面、道案内などをする場面でコミュニケーションを図ることができる。料理や道案内に関する内容についての的確に表現する。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	7

[illegible]

2 期	Lesson 6～7 買い物で使える英語表現やスポーツ競技に関する場面などについて英語で表現できる。 【知識及び技能】 買い物する場面やスポーツ競技について、目的や意図を述べながら的確に表現できる。相手の話を受けて、確認したり、提案したりしながら意思疎通を図ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題に対して、自分の意見や状況などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 買い物やスポーツ競技に関する語句や表現を習得しようとしている。	・指導事項 不定詞（名詞的用法、副詞的用法）を使った表現 動名詞を使った表現 分詞構文を使った表現 ・教材 目的や意図を述べる状況においてコミュニケーションを図る。会話使用場面において、不定詞や動名詞を使い分けることができる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を、定期考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	10
	期末考査								○	○		1
	2学期の復習	・2学期の復習を行う。	○	○	○	○	○					2
3 学 期	Lesson 8～9 紙の本と電子書籍の良さに関して賛成意見や反対意見を英語で表現することができる。健康に関するトピックについて英語で表現することができる。 【知識及び技能】 賛成意見や反対意見を言うための表現を使うことができる。関係代名詞を用いて体調を表す表現を適切に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な場面において自分の考えが理解されるように比較級、最上級、同等比較、関係代名詞を使いながら対話を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 賛成意見や反対意見の表現、健康に関する表現を習得しようとしている。	・指導事項 比較級、最上級、同等比較を使った表現 関係代名詞を使った表現 ・教材 トピックに関する反対賛成意見を述べることができる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を、定期考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson 10～11 社会問題とSDG s について、英語で表現することができる。 【知識及び技能】 環境問題や社会問題の話題を通して、意見を述べたり、賛成や反対の意見を述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題に対して、自分の意見や理由を正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題や社会問題に関する語句や表現を習得しようとしている。	・指導事項 関係副詞を使った表現 主張や提案を述べる表現 仮定法を使った表現 意見尋ねる、意見を述べる表現 ・教材 環境問題や社会問題について意見を述べる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を、定期考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	6
	学年末考査									○	○	
	3学期の復習	・3学期の復習を行う。	○	○	○	○	○					2
												合計
												63

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科 情報 科目 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 情Ⅰ706 図説情報Ⅰ ）

教科 情報 の目標

- 【知識及び技能】情報に関する科学的な見方・考え方を身に着け情報技術の活用方法を習得する
- 【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】情報社会に主体的に参画する態度を養う

科目 情報Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任などについて、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報社会と私たち 【知識及び技能】 ・情報や知識、IoT、人工知能(AI)について理解させる。 ・情報の特徴について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報化による利便性（情報化の「光」）と危険性（情報化の「影」）について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・匿名の特徴、ネットワーク上のルールとマナーについて考えさせる。 ・情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について考えさせる。	・指導事項 PCの使い方 情報社会 情報モラル ・教材 教科書 ・教具 一人一台タブレット(iPad) CALL教室PC端末	【知識・技能】 ・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができる。 ・IoT、人工知能(AI)の意味とその活用について理解している。 ・情報の特徴について、意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報化の光と影について理解したうえで、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。 ・匿名の意味を理解し、匿名による特徴について考え、適切な判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の発信・受信において、発信者や受信者として注意すべき点について考え、自ら責任をもって行動している。	○	○	○	3
	情報社会と問題解決 【知識及び技能】 ・問題解決の意味と、問題解決の流れについて理解させる。 ・情報収集のための手法について理解させる。 ・知的財産権の概念について理解させる。 ・個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法を理解し、表現できるようにする。 ・安全性の高いパスワードとその管理について理解し、セキュリティの高いパスワードを作成させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報週収集のための手法について考えさせる。 ・財産権の概要、産業財産権の構成などについて学ぶ。 ・作成したパスワードが解析されやすい場合、よりセキュリティの高いパスワードを設定するという意識を高める。	・指導事項 問題解決の手順 情報収集の手法 グラフを使った表現と分析的財産権と産業財産権 認証とパスワード コンピュータウイルスと対策 ・教材 教科書、Youtube ・教具 一人一台タブレット(iPad) CALL教室PC端末	【知識・技能】 ・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 ・知的財産権の概要について理解し、経済や文化の発展との関係を理解している。 ・個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 ・各認証方法の特徴について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・関心・意欲をもって、情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。 ・問題解決のための取り組み（検索エンジン利用）に、積極的に参画している。 ・知的財産権の問題に関し、自らWebサイトで調べるなど、主体的・意欲的に取り組んでいる。 「特定されづらいパスワード設定」の実習において、情報のセキュリティを高めようと、粘り強く取り組んでいる。 ・マルウェアなどの被害に遭わないような対	○	○	○	6
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 ・メディアの機能と特性について学ぶ。 ・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について学ぶ。 ・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について学ぶ。 ・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリットについて学ぶ。 ・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。 ・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。	・指導事項 メディアの機能と特性 メディアリテラシー インターネット上のコミュニケーション 情報デザインと表現の工夫 コンテンツ設計 スライドの制作と発表 ・教材 教科書、Youtube ・教具 一人一台タブレット(iPad) CALL教室PC端末	【知識・技能】 ・さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。 ・メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。 ・インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解している。 ・ユニバーサルデザイン、アクセシビリティの意味や目的について理解している。 ・情報をわかりやすく伝達するために、基本的な表現方法を理解している。 ・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解している。 ・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。 ・文書作成ソフトウェアを用いて、わかりやすい資料作成の技能を身に付けている。				

	・コンテンツの論理展開の方法について学ぶ。 【思考力・判断力・表現力等】 ・誰に何を伝えたいかによって、適切なメディアを選択することができる。 ・情報の信憑性を確認することができる。 ・積雪な情報発信ができる。 ・コミュニケーションの仕方に応じた対応の方法を選択できる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションの利点や気を付けるべき点について判断することができる。 ・ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いを理解し、違いを説明できる。 ・他者に情報をよりわかりやすく伝えるために、情報を加工することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・インターネット上でコミュニケーションを取る場合の注意点を理解し、それを実践できる。 ・他の生徒の作品（図表、グラフ、ピクトグラム等）を観察し、	【思考・判断・表現】 ・適切な表現メディアや伝達メディアを選択し、伝えたい情報を効果的に表現することができる。 ・収集した情報を、別のメディアと比較するなどし、正しい情報かどうかを判断することができる。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明することができる。 ・情報伝達の目的や対象を考え、文章を視覚化したり、レイアウトを工夫したりして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を発信する際、信憑性の高い情報となるよう、情報発信を意識して行っている。 ・インターネット上のコミュニケーションに対して、コミュニケーション手段の特性を考え、トラブルが起こらないような態度で取り組んでいる。 ・情報をわかりやすく伝達するために、文字、図表、グラフなどの表現方法について学	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
定期考査返却および解説					○	1
実技テスト					○	1
情報とコンピュータ 【知識及び技能】 ・アナログとデジタル、デジタルデータの特徴について学ぶ。 ・コンピュータ内部での数値の表現について学ぶ。 ・コンピュータにおける文字コード、音のデジタル化、画像のデジタル化、動画の仕組みや動画圧縮の仕組みについて学ぶ。 ・身のまわりの情報機器や組み込み機器の事例について学ぶ。 【思考力・判断力・表現力等】 ・アナログとデジタルの違いを説明できる。 ・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現できる。 ・状況に応じて、文字化けが起こることを理解し、そこに文字コードが関係していることを説明できる。 ・画像の解像度や諧調を用いて、画像の鮮明さについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報のデジタル化に、興味・関心をもち、より深く考えていく。	・指導事項 デジタル表現の特徴 コンピュータでのデジタル表現 情報機器とコンピュータ ・教材 教科書、Youtube ・教具 一人一台タブレット(iPad) CALL教室PC端末	【知識・技能】 ・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 ・2進数の簡単な加算と減算について理解している。 ・文字コードの特徴、音や画像のデジタル化の仕組みについて理解している。 ・カラー画像の表現、光の三原色、色の三原色について理解している。 ・動画の表現方法とデータの圧縮方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・アナログデータとデジタルデータの比較し、その違いについて説明することができる。 ・文字化けが発生する理由について、事例をあげて説明することができる。 ・画像の解像度や諧調を用いて、画像の鮮明さについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報のデジタル化について、興味・関心をもって、より深く理解しようとしている。 ・文字、音、画像、動画のデジタル表現について、興味・関心をもって取り組んでいる。 ・生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について、興味・関心をもって取り組んでいる。	○	○	○	8
アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 ・アルゴリズムの基本やフローチャートについて学ぶ。 ・アルゴリズムの基本構造、プログラムの構造について学ぶ。 【思考力・判断力・表現力等】 ・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明できる。 ・アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考える。 ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プログラミングを行う上で重要なアルゴリズムに興味・関心をもって取り組む。 ・作成したフローチャートが正しいかどうか、わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え、繰り返し取り組む。	・指導事項 アルゴリズムと基本構造 プログラムの基礎 ・教材 教科書、Youtube ・教具 一人一台タブレット(iPad) CALL教室PC端末	【知識・技能】 ・アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 ・アルゴリズムの基本構造（順次構造、選択構造、繰り返し構造）を理解している。 ・プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明することができる。 ・アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考えることができる。 ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成することできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラミングを行う上で重要なアルゴリズムに興味・関心をもって取り組んでいる。 ・作成したフローチャートが正しいかどうか、わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え、繰り返し取り組んでいる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
定期考査返却および解説					○	1
実技テスト					○	1

モデル化とデータの活用 【知識及び技能】 - モデル化の手順や分類について学ぶ。 - シミュレーションの手順と注意点について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 - モデルの分類に関し、身のまわりの具体的な事例で説明できる。 - シミュレーションの手順について、具体的な事例で説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 - モデル化について興味・関心をもち、身のまわりのモデルについて分類するなど、意欲的に取り組む。 - 具体的な事象のモデル化やシミュレーションに対して興味・関心をもち、意欲的に取り組む。	・指導事項 モデル化 シミュレーション ・教材 教科書, Youtube ・教具 一人一台タブレット (iPad) CALL教室PC端末	【知識・技能】 - モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している。 - シミュレーションの手順や注意点、シミュレーションツールについて理解している。 【思考・判断・表現】 - モデルの分類（表現形式による分類、対象による分類）に関し、身のまわりの具体的な事例で説明することができる。 - シミュレーションの手順について、具体的な事例で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - モデル化について興味・関心をもち、身のまわりのモデルについて分類するなど、意欲的に取り組んでいる。 - 具体的な事象のモデル化やシミュレーションに対して興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	5
ネットワークと情報システム 【知識及び技能】 - ネットワークとその構成について学ぶ。 - 通信規約の役割について学ぶ。 - IPアドレスや、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、DNS、HTMLについて学ぶ。 - WWWのサービスと仕組みについて学ぶ。 - 電子メールについて学ぶ。 - 暗号化を活用した技術について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 - インターネットに接続する機器の概要について学ぶ。 - 電子メールの送受信の仕組みについて、概要を説明できる。 - URLのドメイン名の箇所に記載すべき内容について、説明できる。 - 暗号化の技術とデジタル署名について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 - 実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べるなどし、ネットワークの改善に意欲的に取り組む。 - ネットワークにおけるデータの誤りを検出する技術に興味・関心をもち、より深く理解する。 - デジタル署名や認証局について学ぶ。	・指導事項 ネットワークの仕組み 情報システムとサービス 情報セキュリティ ・教材 教科書, Youtube ・教具 一人一台タブレット (iPad) CALL教室PC端末	【知識・技能】 - インターネットに接続するための機器やLANの構成について理解している。 - インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している。 - IPアドレス、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、HTMLなどの意味や働きについて理解している。 - 電子メールのサービス内容と基本的な仕組みを理解している。 - WWWのサービス内容と基本的な仕組みを理解している。 - 暗号化を活用した技術（暗号方式、デジタル署名など）について理解している。 【思考・判断・表現】 - 家庭内のLANの配線例をあげて、インターネットに接続されている機器の概要を説明することができる。 - 電子メールの送受信の仕組みについて、概要を説明することができる。 - URLのドメイン名の箇所に記載すべき内容について、説明することができる。 - 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式について、その特徴や違いについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べるなどし、ネットワークの改善に意欲的に取り組んでいる。 - ネットワークにおけるデータの誤りを検出する技術に興味・関心をもち、より深く理解しようとしている。 - 暗号化の方式がデジタル署名に応用されていることを認識し、デジタル署名や電子認証について、より深く理解しようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
定期考査返却および解説					○	1
実技テスト					○	1
合計						53

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科 科： 総合的な探究の時間 科 目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

使用教科書：

教科 総合的な探究の時間 の目標

- 【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己理解、他者理解、適性について、実際に行動することで理解を深める	自らの個性や適性について向き合い、自分らしいコミュニケーションの取り方を見つける	自分や自分に関わりのある人、事象に対して謙虚に向き合い、自分の進むべき道を決めることの大切さを理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	端末設定 ・ 端末を活用できるように設定する。	一人一台端末の設定から使用方法を理解し、端末を有効に使用できるようにする。	・ 一人一台端末を積極的に活用できている。	○	○	○	2
	基礎力定着 ・ Literas（論理言語力検定）を通して、教科学習の基盤とする。	・ Literasワークブックの取り組みを通して、社会への興味を育て、学んだ語彙を日ごろのコミュニケーションの中でも使えるようにする。	・ ワークブックの課題に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	探究基礎 ・ 自己理解、他者理解を深める。	・ 適性診断 ・ 哲学対話 ・ 自立支援プログラム 「人間関係を身につけよう」 「プレゼン」 ・ 職業カルタ ・ 「進路の手引き」説明会の実施	・ 人間関係を創ることの大切さを理解し、良好な人間関係を創るため自ら考え行動できた。 ・ グループワークにおいては、他者の意見を否定せず、多様な考えがあることを受け入れながら行うことができた。 ・ 多種多様な進路について気付くことができた。	○	○	○	11
2 学 期	基礎力定着 ・ Literas（論理言語力検定）3級合格を目指す。	・ Literasワークブックの取り組みを通して、社会への興味を育て、学んだ語彙を日ごろのコミュニケーションの中でも使えるようにする。	・ ワークブックの課題に積極的に取り組んでいる。 ・ Literas3級を受検し、正解率60%以上を達成することができた。	○	○	○	5
	探究基礎 ・ 自分の進路について、自らの経験や新しい体験を通してその適正を考える。 ・ 作文用紙の使い方を身につける。	・ 自立支援プログラム 「いろんな仕事の先輩を取材」 「チームコンセンサス」 ・ TOKYO GLOBAL GATEWAY体験 ・ 文章添削グループワーク	・ 進路適性の意味を理解し、職業適性について主体的に考えた。 ・ 体験や活動に対し、積極的に取り組んだ。 ・ 作文の基礎を学びながら、積極的にグループワークに取り組んだ。	○	○	○	9
	国際理解 ・ 日本文化に対する知識を深める。	・ 台湾の高校と行う国際交流の一環として、日本文化について調査し、発表を行う。	・ 国際交流に向けた積極的姿勢がある。 ・ 他者と協力しながら発表資料を作成し、設定時間内で発表することができる。	○	○	○	4
	小論文対策 ・ 文章を書く基礎を覚える。	・ 小論文のテキストを用い、小論文の基礎について学ぶ。 ・ 学んだことを活かし、小論文を書く。	・ 400字以上の小論文を時間内に書きあげることができる。	○	○	○	4
							合計 39